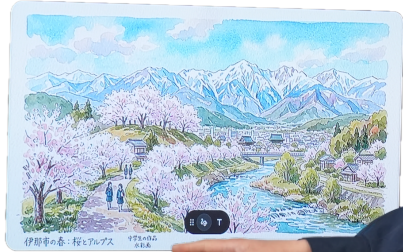


生成AIが作ったものは「誰の作品」？

29

14 JUL. 2026

あれっ！
この絵、何か
変だよ？

伊那市ICT活用教育推進センターの浅利さんによる、「著作権と生成AI」をテーマにした出前授業が西箕輪中学校で行われました。「ネットの画像をSNSのアイコンにしているの？」「生成AIに作らせたイラストを自分の作品として発表するのって、いいの？」そんな疑問に、クイズを交えて楽しく答えてくれる授業です。

生成AIは便利ですが、間違いを教えたり、誰かの作品を勝手に使ったりすることもあります。大切なのは、技術を使いこなしつつ、作った人への「ありがとう」の気持ちを忘れないこと。浅利さんから未来のクリエイターに向けてのメッセージが伝わってきました。

生成AIについての出前授業をお願いするタイミングとは？

情報モラル・メディアリテラシーの指導

利活用開始時には
全ての学年でガイダンスを実施児童生徒による
生成AIを活用した
学習活動教職員による
生成AIを活用した
業務推進と研究教職員に対する
生成AI活用の指導教職員に対する周知徹底
「セキュリティポリシー」
「生成AIガイドライン」

段階2・3・4への移行は各校の校長が判断します。市内で一斉・一律に実施するものではありません。

伊那市教育委員会では、令和8年4月に「伊那市小中学校における生成AIの利活用に関するガイドライン」を制定しました。

推進センターでは、各学校からの要請に応じて、左図の導入プロセスに合わせた「出前授業」を行うことが可能です。お気軽にご相談ください。

特に第3段階は、子どもたちに対して「生成AIとの向き合い方」を指導する大切な段階です。子どもたちの実態に即した指導を行いたいところです。

この場面で「出前授業」を要請していたとき、多くの先生に参観していただくことによって指導できる先生が増えていくことを目指しています。

著作権に関しての美術の授業では

著作権を守るというルールを尊重することは、あなた自身が何かを作った時に、その作品やあなた自身の権利が守られる社会を維持することに繋がります。

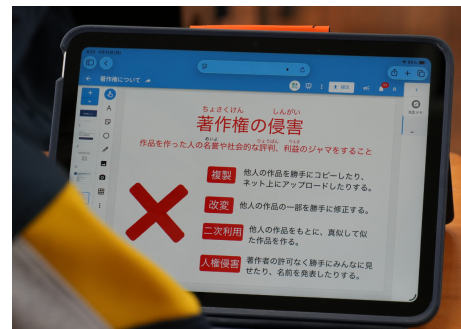
あなたも「著作権」を持つ作者です。著作権は有名な画家や音楽家だけのものではなく、中学生の皆さんが描いた絵やデザイン、趣味で作った音楽、撮影した写真など、何かを形にしたすべての作者に与えられる権利です。

自分が他人の著作権を尊重することは、同時に「自分が作ったものも守られるべきである」というルールを認めることになります。

作品が正しく守られ、作者が適切な対価や評価をもらうことで、次の作品を作るための生活や意欲を維持できます。

もし「勝手に使ってもいい」という風潮が広がれば、作者は新しいものを作れなくなります。私たちが大好きな作者の作品を楽しむことができなくなります。

著作権を守ることは単に「罰則を避けるための義務」ではなく、自分を含めたすべての作り手が、安心して自由に表現を続けられる仕組みを守ることだと言えます。



スクリーンタクトで、テキストが配布されています



AIによって生成された写真の違いを探しています

出前授業は生成AIだけじゃない

小中学生のうちに身につけておきたい

デジタル・シティズンシップ教育

出前授業

学習用タブレットの利用ルールや情報モラルについてだけでなく、SNSやオンラインゲーム、長時間利用など子どもたちを取り巻く課題や、プレゼンテーションの力や情報リテラシーを育むお手伝いもしています。

今までこんな授業をしています

- 学習用タブレットのルール
- 個人情報とSNS
- プレゼンテーションのコツ
- パスワードとセキュリティ
- これってNG？著作権クイズ
- チャットにチャレンジ
- YouTubeはなぜやめられない？
- 生成AIの可能性と危険性

講師 浅利 芙美

長野県伊那市 ICT活用教育推進センター
長野県伊那市 集落支援員

2021年から伊那市教育委員会・伊那市ICT活用教育推進センターに所属し、学校のICT活用推進サポートに当たる。2023年度、市内からの依頼を受けて情報モラル・リテラシーを伝える「出前授業」の実施は、伊那市内・上伊那地区の小中学校で10回以上。依頼を受ける日、PTA総会や、教職員向け研修など、大人向けの授業も行う。伊那市立第一中学校で活動中。出前授業の準備としてスキルアップを続け、読書や講話、大学卒業ホームページの制作に25年以上上乗せし、小学生の保護者。



出前授業の依頼・相談

伊那市の小中学校
・Microsoft Teams でチャット
・浅利 芙美 (教職員)
・市教委やGIGAサポートに相談

伊那市以外 (上伊那) の小中学校
・伊那市地方視察教育協議会 (担当：唐木)
TEL: 0265-76-6861 内線2032
kamisakiyo@ai.wakwak.com

浅利さんによる「出前授業」は、ICT活用に関してのさまざまなシーンに対応しています。

「EDUtechINA」にはこれまで行われた出前授業がいくつか紹介されています。参考にしてください。

N08「iPadとの出会いをデザインしよう」では、小学校1年生とiPadの出会いがワクワクするような出前授業が行われました。

N07「『伝わる』スライドとプレゼン」では、どの学級でも行なっている「学習発表会」でのプレゼン作りのコツなどを扱われ、出前授業の前と後では「児童生徒のプレゼン力が格段に上がった」と、担当の先生方からの感想をいただいています。



GoogleDrive内の「ICT活用教材DB」には、昨年度以前のさまざまな実践が紹介されています。パスワードの作りなどは先生方には必ず知っておいていただきたい内容です。(ICT活用教育N056)

伊那市ICT活用教育推進センター 浅利芙美 集落支援員の出前授業の様子をまとめたものです。

伊那市学校教育情報化ビジョン2024

探究的な学び

先進的な学び

個別最適な学び

協働的な学び

自主的な学び

子どもと共に未来を創る教員